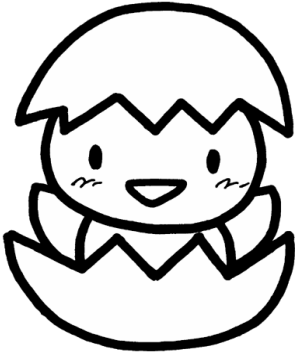


# ひよこのみずあび No.60

令和3年7月発行  
足立区障がい福祉センター  
幼児発達支援室



幼児発達支援室に寄せられる相談は、家庭生活の中での悩み、保育園や幼稚園の集団生活での悩みなど様々です。

今回のひよこのみずあびでは、そんなお悩みの助けになれば、と作成した冊子『気になる子のQ&A』からいくつか抜粋してご紹介したいと思います。

## ◎「気になる子」は「困っている子」

わが子の行動をどのように理解したらいいのだろう、どう接してあげたらいいのだろう、育て方が悪かったのか…など、保護者は様々な不安や悩みを抱えています。また、みんなと一緒に活動ができない、何度教えても身の回りのことが身につかない、友だちとのトラブルが絶えない…など、幼稚園や保育園の先生も悩んでいることがあります。



「心配だな」「気になるな」といった行動や姿を見せる子どもたちは、実は『困っている子』なのかもしれません。自分の気持ちをうまく伝えられなかったり、言われていることがわからなかったり、じっとしていることが苦手だったり…。そのような中で子どもたち自身が困っていて、苛立ちや不安を感じ、傷ついていることもあります。

嫌な思いや苦しい思いをしながらも、それを自分ではうまく解決できず、どうしてよいかわからない状態にある時に本人自身が抱く感覚のことを【困り感】と言います。

子どもの発達の特徴を知り、ちょっとした工夫や配慮をすることで、できないと思っていたことができるようになるのです。子どもたちの本当の笑顔に出会えた！と感じる時、それは保護者にとっても、保育者にとっても最高の喜びとなります。

そんな喜びを感じ、保護者や保育者の方々、何よりも子ども自身の【困り感】が少しでも軽減されることを願っています。



この『気になる子のQ&A』には、「子育てと保育」編と「遊びと発達」編があり、インターネットで誰でも閲覧することができます。この機会にぜひ、障がい福祉センターあしすとのホームページで、幼児発達支援室ひよこからご覧いただけたらと思います。

機関紙『ひよこのみずあび』は

足立区役所ホームページ (<http://www.city.adachi.tokyo.jp/>)

施設案内→福祉関連施設→幼児発達支援室ひよこ（障がい福祉センターあしすと通所事業）にアクセスすると掲載されています。



## ★トイレトレーニングの始め時は？

“△歳になったから始めなければならない”ということはありません。お子さんの成長具合はどうですか？どんなことを目安に始めたらいいのか、確認してみましょう。

### チェックの ポイント

- ① おしっこの間隔が30分程度あいている。
- ② 「おしっこ行こう」の声かけや、おなかをポンポンとたくジェスチャーでトイレに行くことがわかる。
- ③ オムツがぬれると嫌そうな様子が見られる。



上記のチェックポイントで2個以上○が付いたらトレーニングを始めてみても良い時期です。トイレが『嫌な場所』になってしまわないよう、好きなキャラクターのグッズで飾ったり、補助便座や足台を用意したりするなど、環境を整えてからゆっくり始めていきましょう。まずは場所に慣れるよう、オムツや汚れた下着を替える時にはトイレで行い“排泄 = (イコール) トイレ”を定着させるとスムーズにすすむことも多いです。



## ★手をつないで歩くには？

お子さんによっては、手をつないでいると、自分の行動が制限されて好きなようには歩けず、嫌がることもあるかもしれません。それでも、子どもにはその場所が安全かどうかの判断は難しいため、“外へ出掛けたら手をつなぐ”習慣をつけることが大切です。



今までは手をつないで歩けなかったのに、いきなり長い距離に挑戦してもなかなかうまくいかないものです。まずは、お子さんが好きな場所（公園など）に行く時、その場所が見える10メートルほど手前から手をつなぎ「公園に行こうね」と声をかけながら向かってみましょう。



初めは嫌がって難しいかもしれません。そんな時には、もっと短い距離から始めてみましょう。時には、少し強引に手をつなぐことになるかもしれませんが、“子どもに安全を知らせるため”と、頑張ってみてください。時間はかかっても、少しずつ『外では手をつなぐ』ということが習慣になってきます。そして、手をつないで目的地に着いたら、必ずほめてくださいね。



### 手をつなぐとき のポイント

お子さんの手首を持っていませんか？手首を持つと、引っ張られているように感じてしまうかもしれません。手のひらでしっかりとつないで、薬指と小指の間でお子さんの手首を挟むようにしてつないでみましょう。走り出そうとした時にも、手が離れにくくなると思います。

上記の他にも、家庭での生活や人とのかわり、集団生活でのことなど、様々な【困り感】へのヒントが書かれていますので、ぜひホームページをご覧ください。